日本人 x 外国人　多文化共生のまちづくりを伝える

ヨークピア

2020 年秋号



横浜市国際交流ラウンジを紹介します

YOKE 中期構想 2018 ～ 2021 年度進捗報告

横浜市通訳ボランティア　コロナ禍での対応

ヨークピア

編集・発行　公益財団法人横浜市国際交流協会（YOKE）　発行日　2020年10月5日　256号

読者プレゼント

2020（令和２）年は、横浜とムンバイ、マニラ、オデッサ、バンクーバーとの姉妹都市提携 55 周年です！横浜市は半世紀以上にわたって、市民の皆様と一緒に、各都市との友好を深めてきました。

姉妹都市提携 55 周年を記念したエコバッグをヨークピア読者のみなさまを対象に抽選で 20 名様にプレゼントします。

協力：横浜市国際局国際連携課

横浜市 4 姉妹都市提携 55 周年



ご希望の方は専用フォームからご応募ください。　応募のしめきり　2020 年 11 月 30 日（月）

https://ws.formzu.net/fgen/S57874697/

※応募の際に入力いただいた個人情報は景品の発送のみで使用させていただきます。
　当選者の発表は景品の発送をもってかえさせていただきます。

公益財団法人 横浜市国際交流協会（YOKE）
〒220-0012　横浜市西区みなとみらい 1-1-1　パシフィコ横浜
横浜国際会議センター 5 階
TEL　045-222-1171（代表）　FAX　045-222-1187
E-mail　yoke@yoke.or.jp
URL　https://www.yokeweb.com

横浜市の国際交流ラウンジを紹介します！

「多文化共生に関するボランティアをしてみたいな」「横浜市に住んでいる外国人のことをしりたい」「母語で相談できるところを探している外国人がいる」「外国語を勉強したいな」「日本語教室を探している外国人の知り合いがいる」「外国につながる子どもたちが勉強できるところはないかな」・・・

このような場所を探しているみなさん、横浜市には国際交流ラウンジが 10 か所あります。国際交流ラウンジでは、在住外国人のみなさんを支援するボランティア募集、多言語での相談対応、外国語講座、外国人を対象とした日本語教室、子どもたちの学習支援教室などがあります。（ラウンジによって活動内容は異なります。）

地域の特性や運営団体によって独自の活動を行っていますので、ホームページでどのような活動をしているか是非ご確認ください。

相談場所や交流の場所を探している外国人のみなさんにもこのような場所があることをぜひお伝えください！

各ラウンジでは、新型コロナウイルス感染症に対する対策を行っています。
訪問の際は各ラウンジのルールに従い、感染拡大防止に協力くださいますようお願いいたします。

国際交流ラウンジが行っている主な活動内容

※ラウンジにより対応内容は異なります。詳細は各ラウンジへお問合せください。

- 多言語での生活相談
- ボランティア活動
- 外国語講座
- 異文化理解講座
- 外国人の子育て支援
- 日本語教室（こんにちは！）
- 子どもの学習支援
- 行政窓口等への通訳派遣

国際交流ラウンジに対する YOKE の役割

YOKE は、「横浜市国際交流ラウンジの設置及び運営に関する指針」に基づき、国際交流ラウンジ協議会事務局として、市内 10 カ所の国際交流ラウンジ・コーナーのネットワークによる情報共有や意見交換を行い、多文化共生のまちづくりを推進しています。情報共有や意見交換の場として「窓口分科会」「通訳ボランティア分科会」「日本語分科会」「学習支援分科会」を設けています。



※番号は 50 音順
※2020 年 10 月現在

① 横浜の北の端でがんばっていま～す！



青葉国際交流ラウンジ

電話　045-989-5266
アクセス　東急田園都市線「田奈駅」下車徒歩 1 分

② コーナーが所蔵する、世界の料理レシピ本を使って、スタッフが料理をしてみました。できあがりの写真と感想を公開していますので、みなさんも挑戦してみてくださいね。



いずみ多文化共生コーナー

電話　045-800-2487
アクセス　相鉄いずみ野線「いずみ中央駅」下車徒歩 5 分

③ コロナに負けないようみんなで頑張りましょう！



金沢国際交流ラウンジ

電話　045-786-0531
アクセス　京浜急行「金沢八景駅」「金沢文庫駅」下車徒歩 12 分、シーサイドライン「金沢八景駅」下車徒歩 12 分

④ 中止していたイベントですが、秋の実施に向けて、これからがんばります



港南国際交流ラウンジ

電話　045-848-0990
アクセス　京急または市営地下鉄ブルーライン「上大岡駅」下車徒歩 3 分

⑤ コロナ禍でも万全の対策を行い、みなさんにご利用いただける機会をつくってまいります



港北国際交流ラウンジ

電話　045-430-5670
アクセス　東急東横線「菊名駅」下車徒歩 8 分

⑥ コロナとともに、再スタートです！



都筑多文化・青少年交流プラザ（つづきMYプラザ）

電話　045-914-7171
アクセス　市営地下鉄ブルーライン・グリーンライン「センター北駅」下車徒歩 3 分

⑦ みんな元気に業務や活動を行えていることをうれしく思っています



鶴見国際交流ラウンジ

電話　045-511-5311
アクセス　JR「鶴見駅」京急「京急鶴見駅」下車徒歩 2 分

⑧ 粛々とやっています。日本語教室は 9 月から対面でできるよう、準備を進めています！



なか国際交流ラウンジ

電話　045-210-0667
アクセス　みなとみらい線「日本大通駅」下車徒歩 3 分

⑨ 1 日でも早くコロナが収束に向かって、みんなで集まれる日が来ますように



ほどがや国際交流ラウンジ

電話　045-337-0012
アクセス　相鉄線「天王町駅」下車徒歩 2 分

⑩ 日本人と外国人が一緒によりよく暮らしていける地域を作りたいですね



みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ

電話　045-232-9544
アクセス　市営地下鉄ブルーライン「阪東橋駅」下車徒歩 5 分

ラウンジの名称を入れて検索してください。

〇〇〇〇ラウンジ



YOKE 中期構想
2018 年～ 2021 年度

だれもが自分らしく活躍できる
多文化共生のまち横浜を目指して

YOKE は、「だれもが自分らしく活躍できる多文化共生のまち横浜」を目指し、活動の重点取組をまとめた「YOKE 中期構想（2018-2021 年度）」を 2018 年に立てました。2020 年はその折り返しの年です。構想のゴールを目指し、私たちがどのような活動をしているかについて現時点での進捗を報告します。

多文化共生のまちづくり推進「多様性が活かされる地域のコミュニティづくり」

重点取組 1 「外国人の生活基盤支援の充実」

主に国の「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策（2018 年 12 月）」に沿って進めています。

11 言語対応の相談窓口（多文化共生総合相談センター）の開設

これまでの 4 言語から 11 言語対応に拡充した多言語相談窓口を 2019 年 8 月に開設しました。在留、雇用、医療、福祉、出産・子育て、教育等の分野において専門機関とも連携して相談機能を強化しました。2020 年 3 月には同センターのウェブサイトに新型コロナ感染症関連の特設サイトを設け相談と情報提供を連動させながら対応しています。

地域日本語教育の総合的な体制づくりの推進

外国人が生活や就労の場で円滑にコミュニケーションができ地域社会に包摂される環境を整えていくため、地域日本語教育の総合的な体制づくりを進めています。2019 年度は地域日本語教室、日本語教育機関、国際交流ラウンジはもとより外国人を雇用する企業なども対象に日本語学習支援等の実態やニーズ調査を行い、これを踏まえて地域の日本語教育推進のためのアクションプランを策定しました。2020 年度から具体的なプログラムをスタートしています。

重点取組 2 「外国人の地域とのつながりづくり強化」

YOKE が運営する国際交流ラウンジでは日本人と外国人の地域での相互理解・交流の場づくりを進めています。

地域とのつながりづくり

なか国際交流ラウンジでは、連合町内会やケアプラザ等が主催する催事（防災訓練、餅つき大会、お祭り等）への外国人住民の参加促進に協力しています。
みなみ市民活動・多文化共生ラウンジでは、外国人住民対象の多言語による生活ガイダンスを外国人の在校比率が高い小学校の保護者や夜間中学校の在校生を対象に開催しています。学校における多文化共生の活動などにも協力しています。
鶴見国際交流ラウンジでは、外国人と日本人との身近な交流を目的とした「おしゃべり会」を開催しています。

重点取組 3 「外国人の活躍促進」

外国人が地域で活動する機会や場の拡大にも取組んでいます。

外国人の活躍促進

なか国際交流ラウンジが設置する外国につながる若者たちの居場所（レインボースペース）を拠点に活動をサポートしています。2019 年は若者たちが自主映画を製作し多方面で上映会が開かれています。また、ラウンジを介して市民通訳ボランティアや多言語相談窓口のスタッフとして多くの外国人住民が日本に来たばかりの外国人の生活を支援する活動に関わっています。

重点取組 4 「外国人材の誘致・定着の促進」

留学生等の国内就職や就労定着を支援する取組を進めています。

介護分野の外国人留学生等の生活支援

ベトナムや中国などから介護福祉士を目指して来日した外国人留学生等を対象に、2019 年度は生活に関わる相談に応じる定期相談（38 人参加）及び施設を訪問して行う出張相談（3 施設 6 人参加）を実施し、併せて介護施設で働く外国人の生活相談の窓口案内を目的とした多言語チラシを作成し、施設 240 か所に配布しました。

留学生の国内就職促進を目的とした取組

国際学生会館主催の就職セミナーの開催 2019 年度実績：のべ 63 人参加
留学生と企業の交流会の開催 2019 年度実績：留学生 28 人と企業 10 社 17 人参加

未来を創る多様な人づくり「誰もが安心して豊かに暮らす世界」を目指す若者の育成

重点取組 5 「学校と連携した『多文化共生』『地球規模の課題』への取組の学びの促進」

未来を創る多様な人づくりを目的に小学生から大学生まで教育機関と連携して進めています。

地球市民プログラム

「たずねよう！国際協力センター」を通して市内の小学生を国際協力センターに受入れ、国際機関の活動紹介、職員の講話などを行い体験型学習の機会を提供しています。 2019 年度実績：23 校 1,907 人参加

YOKE を含む国際機関でのインターン受入

2019 年度実績 : 市内 6 大学から年間 16 人が 7 機関で実施

小・中・高校への出前授業

国際学生会館の留学生が市内の小・中・高校へ出前授業を行い母国の文化を紹介しています。2019 年度実績 :19 校 60 クラス 1,870 人参加

最善の道を探しながら



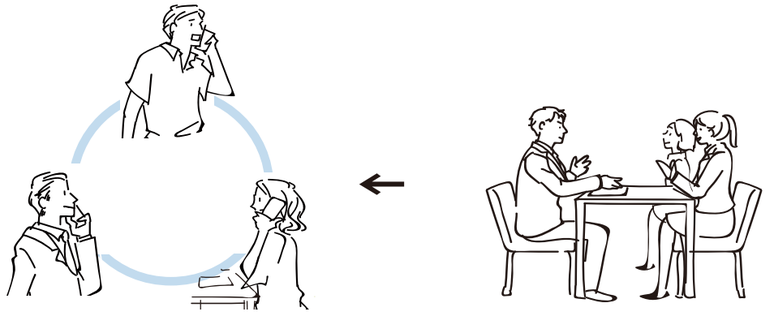
令和の時代になって、国の方針を背景に多文化共生のまちづくりが大きな一歩を踏み出した矢先でした。新型コロナ感染症によって私たちの日常が一変し、特にコミュニケーションによって成り立つ日々の作法が対面から遠隔へと変貌していきました。

YOKE の活動も大きな制約の中で試行錯誤の日々です。通常対面で行う市民通訳ボランティアや日本語教室の学習支援も今までのようにはいかなくなりましたが、新しい日常を創っていくしかありません。これは何らかの人類の進化の過程なのだと根拠もない前向きさを抱きつつ、これからも細心の注意を払いながら、YOKE は今できる最善の道を探して取組を進めていきます。

公益財団法人横浜市国際交流協会　事務局長　坂本　淳



横浜市通訳ボランティア派遣事業での取組
～コミュニティ通訳を遠隔で～
コロナ禍でも安心して私たちの事業を利用いただくために



公益財団法人横浜市国際交流協会（ＹＯＫＥ）は、市内の国際交流ラウンジと共同で市・区役所窓口や保育所、市立学校等で通訳が必要なとき、通訳ボランティアを派遣する事業を行っています。

２０年以上の歴史のある当事業では、通常は通訳が現地に赴き対面で通訳に対応していますが、（２０２０年８月）現在新型コロナウイルス感染拡大の影響により、対面での対応が難しい状況が続いています。コロナ禍であっても、行政の窓口や学校などでは外国人の手続きや相談で通訳を必要とする機会が絶えず発生しており、このような状況の中でもできるだけ通訳派遣のニーズに応えられるよう事業担当者が検討を重ねてきました。

現在は、新型コロナウイルス感染を避けるために対面での通訳対応に代えて、電話やタブレットを介した通訳対応を導入しています。事前に予約いただき、指定の日時に通訳ボランティアがＹＯＫＥ事務所やラウンジで電話またはタブレットを使用して通訳に対応しています。

遠隔での通訳は対面と違い、顔の見えるボランティアがすぐ隣でサポートできないことから、充分に思いが伝えられないことを懸念する声が多く聞かれます。その不安を取り除けるよう、研修会の実施や環境整備等を図りながら、遠隔通訳においても十分に言葉の支援ができるよう、取り組んでいきたいと思っています。

新型コロナウイルス感染症という前例がない状況の中で、通訳を必要としている方に安全に通訳ボランティア派遣事業を利用してもらえること、通訳ボランティアが安心して通訳に対応できることを第一に考えながら対応していきたいと考えています。

私たちの取組に御理解と御協力をくださいますようお願いいたします。



電話やタブレットを介して通訳をしています。

何　英敏　さん　中国語通訳ボランティア

普段は区役所窓口での手続きや療育センターなどで通訳ボランティアとして活動しています。
「資料を一緒に見ることができないなどの不便さはありますが、電話やタブレットを使った通訳は便利だと思います。相談者、回答者、通訳者がそれぞれの場所で話すことができるのは新型コロナウイルス感染症が心配な中では安心ですね」

利用者と通訳ボランティアの声

オンラインによる通訳でした。保護者とお子さんの学校や家庭の様子、連絡事項を的確に伝えあえる環境があることはソフト・ハード両面の支えになりより安心して生活できる一助になると思います。



行政機関担当者

zoom による通訳は初めてでしたが、スムーズに始めることができました。顔が見える分、電話通訳より話しやすく感じました。



通訳ボランティアＡさん

遠隔通訳は 3 回目でしたが、行政の方、外国人の方が各々電話機を持っていただき話をしたため、お二人の音声がとても聞き取りやすく、スムーズに通訳ができました。



通訳ボランティアＢさん

事業について

横浜市通訳ボランティア派遣事業

派遣の種類　行政通訳、学校通訳（対応できる内容はホームページをご覧ください）
派遣できる曜日　（原則）平日８：45 ～ 17：15 の中で２時間以内
費用　依頼者の負担はありません
申込み　希望日の１週間前までに YOKE またはホームページ内で案内している国際交流ラウンジへ
事業に関するお問合せ　電話　045-222-1173

横浜市通訳ボランティア派遣
https://www.yokeweb.com/tsuyaku

※新型コロナウイルス感染症の影響により対応方法が変わる場合がございます。ホームページを確認くださいますようお願いいたします。

横浜市多文化共生総合相談センター 相談の現場から　Q&A

Q　ペルー出身、在日 20 年になります。中学２年生の息子が学校でいじめにあっているようです。お弁当にゴミを振りかけられたり、上履きを捨てられたり。SNS でも悪口を書かれているようです。このところ学校に行っておらず、勉強が心配です。担任の先生に相談しましたが、十分な対応をしてもらえません。

A　それはとても心配ですね。
まずは、学校とよく相談することが第一です。面談では日本語で十分コミュニケーションが取れなかったとのことですので、一度通訳を交えてしっかりと話し合ってみてはいかがでしょうか。その上で、区子ども家庭支援課や教育総合相談センターでスクールカウンセラーに相談することもできます。
また、学校に行かずに自宅で過ごす期間が長くなると、お子さんのストレスにつながり、学習面での遅れも心配ですので、フリースクールなども検討してみてはいかがでしょうか。市内には、外国につながるお子さんのための学習支援教室もあります。
いずれの場合も、通訳を介して相談ができますので、お子さんの気持ちをしっかりと受け止めながら、一緒に考えていきましょう。



横浜市多文化共生総合相談センターでは、外国人のみなさんからの質問に 11 言語で対応しています。
お気軽にご連絡ください。　**電話 045-222-1209**

寄付をいただきました。

これまでに個人４名の方から寄付をいただきました。
寄付金は、指定いただきました事業に充当し、有効に活用させていただきます。本当に皆様ありがとうございました。



寄付の御協力をお願いします。

支援したい事業を選ぶことができます。

留学生支援　外国人子ども教育支援　在住外国人への情報提供支援　国際交流・教育支援

☑ 寄付金額　1,000 円／１口以上、金額は寄付者の方の任意です。
☑ 講座番号　00250-3-74434
☑ 加入者　公益財団法人横浜市国際交流協会

詳細はお問合せください。



８月にオープンしました！

よこはま日本語学習支援センター
Yokohama NIHONGO Support Center

キーワードは　**横浜×日本語×多文化共生**
横浜の地域特性を踏まえた日本語学習支援を通じ、多文化共生のまちづくりを推進します
外国人が生活の場で円滑にコミュニケーションのできる環境を整えていく必要が高まる中、「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」を進めていくための拠点として 2020 年８月（公財）横浜市国際交流協会に開設しました。

地域日本語教育にかかわる方や関心のある方
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」をサポートします！

電話　045-222-1173
E-mail　c-nihongo@yoke.or.jp
ホームページ　https://yokohama-nihongo.com

多文化共生　国際交流　日本語教室　語学講座などの情報

メール配信を始めました

YOKE・横浜市国際交流ラウンジが
開催する講座やイベント情報をお届けします。
ぜひ登録くださいますようお願いいたします。
配信日：毎月１日・15 日ころ



https://m.bmb.jp/bm/p/f/tf.php?id=yoke&task=regist